



市民の誓い 私たちは 水を生かし 緑を広げ 安全に努め 心を育て 助け合います



市マスコットキャラクター おがっくん&おあむちゃん

ユネスコ無形文化遺産登録へ



大勢の見物客の前で芸能を披露する軸(今年の様子)

大垣祭の軸行事

10月31日、国際連合教育科学文化機関(ユネスコ)の評価機関が「大垣祭の軸行事」をはじめ全国33件の「山・鉦・屋台行事」を、無形文化遺産に登録するよう勧告しました。11月下旬にエチオピアのアディスアババで開かれるユネスコ政府間委員会で、正式に登録が決まる予定です。

大垣まつりは、八幡神社の例大祭で、大垣藩初代藩主の戸田氏鉄公が神社を再建整備したおりに、10か町が10両の軸を曳き出したのが始まりと伝えられています。藩主から賜った3両の軸と町衆の軸が併存する形態は全国的にも珍しく、また、中京圏と近畿圏の東西文化の交わりを示す貴重な祭礼行事です。来年は5月13・14日に開催。

ユネスコ無形文化遺産とは、ユネスコが無形文化遺産保護条約に基づき登録する、人類にとって重要であると認められた無形文化遺産のことです。

今回登録の対象となったのは、昨年3月に文化庁より登録提案されていた全国の国重要無形民俗文化財の祭礼行事です。県内では他に、高山市の「高山祭の屋台行事」と飛騨市の「古川祭の起し太鼓・屋台行事」も含まれます。

パブリックビューイングを開催

市は、ユネスコ無形文化遺産へ正式登録となる11月下旬に、決定の瞬間をお祝いするため、パブリックビューイング(市民報告会)の開催を予定しています。会場は奥の細道むすびの地記念館で、日程などが決まり次第、市HPでお知らせします。

また、登録決定後から来年5月の大垣まつりまでの期間には、全国33件の祭りのポスターやパネルの展示、登録記念映像の披露を行うほか、平成29年3月5日には、記念講演会も開催します。講演会の詳細などは、本紙2月1日号に掲載予定です。

11月15日号 主な内容

- ▶平成27年度市の財政状況など ...2~3P
▶教育功労者表彰、高齢者在宅福祉サービスなど ...4~5P
▶催し、かがやきライブだよりなど ...6~7P
▶「プラスチックはリサイクルへ」、市民伝言板など ...8~9P
▶健康ガイド ...10~11P
▶アフタヌーンコンサート、芭蕉元禄イルミネーション、ソフトピアジャパン冬のファンタジーなど ...12P

また、10月4日には、北棟2階に「キッズピア おおがき子育て支援センター」がオープンしました。「子育て支援日本一」のまち・大垣のシンボルとなるところで、木製遊具や絵本など設備も充実しています。委託するNPO法人のスタッフが常駐して、お母さんたちの子育て相談などに対応しています。市の親子お出かけバスケットを活用して来られる方もあり、連日多くの方にご利用いただいています。



親子連れでにぎわうキッズピア

そのほか、キッズピアのオープンに合わせて、10月からは子育て支援アプリを無料配信しています。子どもの生年月日を入力すれば、予防接種のスケジュールや月齢に合わせた離乳食メニューが表示されます。また、現在地から最寄りの赤ちゃんステーションなどが検索できる便利な機能もあります。

スイトスクエア大垣がオープン

JR大垣駅南口に、3棟の再開発ビルで構成される「スイトスクエア大垣」が9月22日に完成しました。北棟は17階建てで、3階までの商業・業務施設と4階以上の分譲マンションから成り、南棟は3階建ての商業・業務施設となっています。商業部分には、飲食店や産直売場、医院などが入居しており、駅南地区の活性化の起爆剤になるとが期待されます。



市長のながさきメール

大垣市長 小川 敏